

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスあひろば丸岡			
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 1日 ～ 令和 7年 12月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 1日 ～ 令和 7年 12月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育	御利用児童様の状況・特性に合わせた療育内容を日々検討しております。また児童達の自己主張が出来る場も設けながら更に質のよい療育を目指しております。	その時々状況・変化に合わせて、臨機応変な内容変更を行っていきたいと思っております。
2	プログラム内容	児童からの意見の取り入れも行い、より楽しめる・楽しみに出来る内容を組み立てております。また保護者様に日頃の様子をご覧頂ける行事の開催等も積極的に取り入れおります。	児童からではなく、保護者様からの御希望に添えるようなプログラムの構築・実施を検討していきます。
3	地域活動	季節の行事に合わせ、地域交流の場を少しずつ増やしています。最近では高齢者施設への訪問も行い、児童達が高齢者方々と関わりを持つ場を設け、人に感謝して頂ける体験を行いました。	今後も積極的に外部交流の場を設け、児童達が将来を楽しみに出来る環境を作っていきたいと思っております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の交流の場がない。 (父母会が開催されていない。)	イベント・行事の開催を通して、少しでも保護者同士が関わりを持てる場を設けられるよう、日々職員一同話し合いを行って参ります。	保護者様からのご意見等をもとに今後必要に応じ、交流の場を検討していきます。
2	地域児童との関わり (児童クラブ・児童館)	感染症の状況も踏まえ、少しずつ地域交流・地域児童と関わりが持てる機会を検討して参ります。	児童と話し合いを行いながら、児童達が挑戦したい交流方法等を見つけていけたらと思います。
3	連絡時の配慮	保護者様のご相談内容に合わせ、今後は個室対応にて話し合いが出来る環境を整えて参ります。	日々のミーティングの中でも再度注意を行い、必要に応じて個室対応が出来るよう職員配置の方もしっかり行っていきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あひろば丸岡		公表日			令和8年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		児童・職員数に合わせた空間になっております。体を伸び伸び動かす事が出来るスペースも御座います。また個室もご用意している為、個別対応も行っております。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児童数に見合った職員数を配置しております。しっかり資格を持っている職員が支援をさせて頂いております。	日頃からの出勤している職員を提示し、より安心して御利用して頂けるよう務めて参ります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		全体を見渡しての支援が出来る空間になっております。お子様が来所されてからスムーズに活動出来る動線を作っております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日頃お子様が御自宅された後にしっかり清掃・消毒等を行い、清潔な空間になるよう心掛けております。感染症の状況に合わせ対策もしっかり行っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		来所時の児童の心情・状態に合わせ、個別対応を行っております。個室では職員との1対1の時間を設け、落ち着いて過ごせる空間を準備しております。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の昼礼・支援後の時間を利用して、職員同士で目標設定・振り返りを行っております。全職員で共通認識を持てる時間を毎日設けております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート内容・結果・改善点（内容）をHPに掲載しております。また改善点に対し迅速対応出来るよう心掛けて参ります。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の昼礼の他に月に1回茶菓子ミーティングを行い、職員が気持ち・意見を話せる環境を作っております。また日頃より、話せる環境を作っており、都度相談・連絡が出来るよう務めております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は第三者による外部評価を行っていませんが、状況に応じて検討を行っていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な内部研修（月1回以上）を実施し、職員の資質向上に努めています。4月と10月にそれぞれ新規職員研修を実施しています。職員の受けたい・学びたい研修内容を聞き取り実施しております。	今後も職員のニーズや状況に応じて、効果的な研修を行い日々の支援の中で活かしていきたいと思います。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		弊社HP上で毎月公開しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々のニーズ・保護者様が求める内容に基づいて、1人1人に合わせた個別支援計画を作成し、支援に繋げております。	今後も利用者様のニーズ・保護者様の御意見をもとによりよい計画の作成を行って参ります。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童支援管理責任者を中心に児童に関わる全職員からの意見を取り入れられるよう担当者会議を開き、目標・モニタリング・保護者様からの聞き取り内容の共有を行っております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個々の計画内容は担当者会議を始め、日々の朝礼・昼礼の中でも共有をし、再認識出来るようにしております。また個々のニーズに合わせ、個別での支援・集団療育を行っております。	今後も全職員の意見を取り入れながら、よりよい支援・計画の作成を行って参ります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援内容を含め、児童の様子を日々送迎・保護者様お迎え時にご報告させて頂き、御自宅・学校での様子等も確認しております。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		6ヵ月に1回、保護者様と面談を行いながら、その時々に必要なニーズに合わせた目標設定を行っております。また目標設定に対して、具体的に行う支援内容も記載させて頂いた上で保護者様にご説明・承諾を頂いております。	今後も保護者様にご安心頂ける支援内容の作成・設定を行い、児童の成長に関われるよう務めて参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月プログラムを作成する為にミーティングを開催し、全職員の意見を取り入れております。また各事業所の児童の特性に合わせたプログラム内容の立案を行っております。	今後も児童が楽しめる内容の作成を含め、保護者様・職員も一緒に楽しめるプログラムの作成が出来るよう全職員で意見交換を行われて参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童・保護者からの御意見等を参考にしながらプログラム内容を日々検討しております。利用者が「楽しみ」「行きたい」とイベント・内容に興味にはどうするといったかを日々模索しております。	今後も利用者様含め、保護者様にも楽しんで頂ける内容を考えていきたいと思っております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者様の状況や保護者様のご意向を尊重しながら、職員間で話し合い計画の作成にあたっています。適時組み合わせを行っています。	より専門性の高い計画を作成出来るよう職員での情報共有をしっかりと行って参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や昼礼を実施し、振り返りや情報の共有を図っています。また、月に一度全体ミーティングも実施し様々な議題について話し合いを行っています。	「報告」「連絡」「相談」を重視しつつ、職員にとってやりやすい、伝わり易い環境整備を計っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、その日の支援状況・児童様の状況等を日々振り返る時間を設けております。またトラブル時の対応に対しては改善出来る事がなかったのかを全員で決めております。	送りの送迎や営業時間の関係から当日中に伝えられない場面もありますが、翌日の朝礼時等での共有に努めています。気になることやトラブルがあった場合にはより迅速に正確に共有出来るように努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々保護者様と共有出来る連絡帳を用いて、記録を残しております。保護者様のご意見等も取り入れながら改善方法、よりよい支援内容に結び付けております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを行い、目標・課題が利用者様の現状に見合っているもののなかをしっかりと判断し、次の計画に繋げています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		適切な事業運営が出来るよう、定期的に研修等を通じて再確認を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童達自身で選択出来るプログラムも取り入れております。グループ活動の班分けも児童同士で行う時間を設け、自己決定・自己選択が出来る環境を整えております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		外部の会議には「施設長」「児発管」等、日頃より児童様の状況を把握・理解している職員が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童様の状況・状態に合わせ、必要に応じてケース会議を開催し、様々な期間との連携・情報共有を図っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時に児（利用者様）の様子を確認したり、その場で伝えきれないことや重要なこと等はその後電話等で情報伝達を行っています。	連絡不十分な所も御座いますが、出来る限り情報をお伝え出来るよう努めて参ります。放デイ内での出来事などについても、必要に応じて学校側との情報共有を図っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に保育園職員を含めた会議を開催し情報共有を行っております。都度必要時に応じて保護者様・相談員より情報共有させて頂いております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者様からのご要望に合わせ、就労移行会議への参加・情報共有を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現在は行っておりませんが、今後必要に応じて取り入れて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		まだ大きな交流を持つ活動は出来ておりません。今後感染症等の状況を見ながら検討して参ります。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		地域の社会福祉協議会の研修やイベントなどに出席しています。	今後は、協議会で話し合った地域の課題などについて、より事業所内でも積極的に話し合い、職員一人ひとりに問題意識を持って頂けるよう働きかけていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々保護者様と対面にて情報共有を行っております。また連絡帳を通しての情報共有・共通理解を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		明確な実績はまだありませんが、保護者様のニーズに応じて提供していきたいと考えています。また職員の研修も積極的に行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や個別支援計画の面談の際、または必要に応じて個別で説明をさせて頂いています。	今後もしも不明な点ございましたら、お気軽にお申し付け下さい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様との定期面談の前に児童様とも面談・聞き取りを行う時間を設け、両者のお気持ち・考えに寄り添えるよう心掛けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリングを始め、全ての計画内容の御説明をしっかりと行い、同意・御承諾を頂いた上で支援に組み込んでおります。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		御希望に合わせ、面談を行いながら、支援者側からの助言をお伝えさせて頂いております。	お困りごとやお悩みごとについて、随時承っております。お気軽にご相談下さい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	感染症の影響・状況で控えていた部分はありますが、状況などに応じて開催を検討出来たと思います。	現在は行っていないですが、子育ての悩みや情報の交換を進めていくため、保護者様同士の交流の場の設置について必要に応じて検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		主に面談時に日頃の悩み・相談を保護者様より聞き取りを行っています。内容に合わせ必要な助言等もさせて頂いております。	お困りごとやお悩みごとについて、随時承っております。お気軽にご相談下さい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎週土曜日にHP上のブログにおいて、活動内容を掲載させて頂いたり、月ごとのプログラムを提示させて頂き、日々の活動内容・様子を掲載させて頂いております。最近ではSNS(Instagram)での掲載も行っております。	今後とも、あひろば丸岡での活動を広く知って頂ける取り組みを行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っています。	今後も情報の取り扱いには細心の注意を払い、安心して通所や情報交換が出来るように努めて参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性に応じた柔軟な対応や配慮が出来るよう努めています。	今後も柔軟かつ迅速、臨機応変な対応が出来るよう努力して参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		保護者様参加向けの行事（イベント）は年に数回実施しています。地域の方々へのイベント主催も感染症の状況等に配慮行い、検討していきます。	感染状況に左右されてしまう事も御座いますが、地域の方々と交流出来る場を検討していきたいと思っております。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		感染拡大状況に合わせて、その都度おたよりの配布・口頭でのご報告をさせて頂いています。	防犯対策マニュアル、緊急時の対応マニュアルについても、保護者様に広く周知出来るような取り組みを検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回（6ヵ月に1回）、様々な災害・不審者等の予測を行い、避難訓練を行っております。また事業所の訓練のみならず「防災センター」「消防署」に見学に行き体験を通して学べるよう努めております。	災害・防犯等可能性のある状況を想定し、より危機感を持った訓練を実施していきます。今後更に災害に備えた道具を順次整備して参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時を含め、都度児童の状態を確認・観察を行いながら、受け入れ対応を行っております。	状況に応じて、医療機関も交えながら対応や連絡体制についての情報共有を図っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		専門医からの診断書の提示・保護者様の自宅での御対応を方法等をしっかりと把握させて頂いた上で対応しております。	状況に応じて保護者様のニーズに合わせて医療機関との直接的な連携も図っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		日々施設内に設置されております遊具を含め、様々な設備の点検を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		日々のご様子等をしっかりとご連絡させて頂いております。ご不安点にもしっかりと対応出来るよう努めております。	

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		案件毎に報告書を作成し、職員間で話し合いを行い、再発防止に努めています。事故等が生じた時の情報共有を適切に行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に管理職員での話し合いを行い、各事業所職員への虐待防止について伝達しております。プラス研修の機会を確保しています。	今後も定期的な研修の機会を設け、理解を深めて参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		利用者契約書に身体拘束等の禁止について記載しており、契約時などにおいて対応についてご説明させて頂いています。（基本拘束は行っておりませんが児童様自身に被害が及ぶ事が想定された際は保護者様の同意のもと行うよう努めております。）	